

# 第10回 フードメッセ in にいがた2018

## 実施報告書



2018年11月7日(水) ▶ 9日(金)

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」・「メインホール」

主催：フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

主管：日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会

<http://foodmesse.jp>



### 主催

フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

### 主管

日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)  
食と花の世界フォーラム組織委員会

### 事務局

フードメッセ in にいがた2018運営事務局  
(日本食糧新聞社内)

〒103-0028

東京都中央区八重洲1-9-9 東京建物ビル5F  
日本食糧新聞社ビジネスサポート本部

<http://foodmesse.jp>

### 次回開催のご案内

第11回

# フードメッセ in にいがた2019

同時開催  
第6回 にいがた 6次化フェア2019

第5回 にいがた 食の輸出商談会 2019

2019年11月6日(水) ▶ 8日(金)

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」・「メインホール」

お問い合わせは公式サイトから ▶ <http://foodmesse.jp>

出展予約  
受付中!



# 出展社・来場者ともに過去最大規模！

# 「食」のビジネスチャンスが新潟市に集結。

国家戦略特区（農業特区）の新潟市を中心に、国内外から「食の魅力」を発信する国際総合見本市として今年で10回目を迎えた。新商品のトレンドだけでなく、本州日本海側を中心とした地域食材の展覧、デモを交えた包装・機器・容器の展示などが一体となり3日間盛況となった。また、来場バイヤーとの商談成立を図るビジネスマッチングとしての機能はより一層充実。「海外パビリオン」の集中展示企画、同時開催展の「にいがた6次化フェア」「6次化大賞」、「にいがた 食の輸出商談会」を含め、多岐にわたる国際総合見本市として定着化した。

## 開催概要

名称 ● 第10回 食の国際見本市 フードメッセにいがた2018  
 同時開催 ● 第5回にいがた6次化フェア2018  
 第4回6次化大賞  
 第4回にいがた 食の輸出商談会2018

会期 ● 2018年11月7日(水)～11月9日(金)  
 10:00～17:00(最終日は16:00閉場)

メインテーマ ● 「より良い食を求めて」  
 入場料 ● 3,000円(税込) ※招待券持参者は無料

会場 ● 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」・「メインホール」

主催 ● フードメッセにいがた運営会議・新潟市

主管 ● 日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会

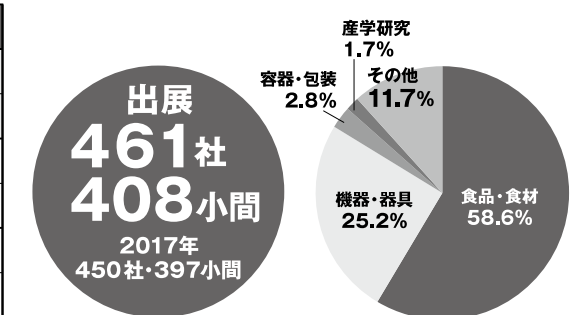
後援 ● 国際連合食糧農業機関(FAO)日本事務所、農林水産省、外務省、駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館、日本貿易振興機構(ジェトロ)新潟貿易情報センター、(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、(株)日本政策金融公庫、(公社)新潟県養蚕会、(公社)全日本司厨士協会関東総合地方本部新潟県本部、(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、(一社)新潟県調理師会、新潟市食品衛生協会、新潟市食品衛生指導員協議会、新潟市旅館ホテル協同組合(順不同)

特別協賛 ● (株)ブルボン、亀田製菓(株)、JAグループ新潟、新潟万代島総合企画(株)  
 協賛 ● 亀田郷土地改良区、(一財)亀田郷地域センター、JA新潟市、新潟日報社、新潟食料農業大学、新潟県蒲鉾組合、一正蒲鉾(株)、新潟商工会議所、新潟薬科大学、JA越後中央、亀田商工会議所、JA新潟みらい、(株)サンプラスト三笠、(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、新潟観光コンベンション協会、新潟経済同友会、新潟商工会議所、(株)藤井商店、三菱商事(株)新潟支店、JA新潟さつき、ホテル日航新潟(順不同)



## 出展社状況

年次	出展社数	食品・食材	機器・器具	容器・包装	産学研究	その他
2018	出展社数	270	116	13	8	54
	出展比率	58.6%	25.2%	2.8%	1.7%	11.7%
2017	出展社数	252	107	20	7	64
	出展比率	56.0%	23.8%	4.4%	1.6%	14.2%
2016	出展社数	203	87	10	8	36
	出展比率	59.0%	25.3%	2.9%	2.3%	10.5%



## 出展の特徴 水産、農産、畜産、酒類、スイーツ… 新規出展も多く、熱気溢れる展示会に。

- **キーワードは個性、付加価値、チャレンジ、地域性**  
 高付加価値化を進める地方の食品、食材が新潟そして全国から集まる見本市として定着。生産量は少なくとも個性ある地方食品、付加価値の高い生産方法確立にチャレンジする生産者、地域の力を結集する地方団体…差別化を求めるバイヤーが国内外から参集した。
- **商工会議所・商工会・自治体などが食ビジネス振興に意欲**  
 県内外、各地の商工会・自治体などが、地域ブランドを意識した統一コンセプトで出展する形が拡大。それに伴い各地で出展ノウハウ、商談ノウハウの習得セミナーも活発化。小規模生産者の出展を促して地域食材発掘を狙うバイヤーに好評を博した。
- **先端厨房機器の展示も続々登場**  
 地方では貴重な最新機器展示、デモ展開の場として定着した。地方にいなが様々な技術や先端情報に触れられるチャンスである。当展をきっかけとする大型設備納入の実績も報告されており、地方の生産技術向上に向けて食品・食材とバランスのとれた展示となった。

- **「第5回にいがた6次化フェア2018」**  
 全国の6次産業化に取り組む事業者が新潟に集結し、個性溢れる地域食品・食材を探す首都圏の有力バイヤーとのマッチング機会を創出。展示会に出展経験の無い小規模事業者でも出展しやすい条件を整備した。
- **「第4回6次化大賞」**  
 最終選考会に残った15社が、6次産業化推進に向けた賞金総額110万円(相当)をかけて、熱のこもったプレゼンテーションを披露。回を重ねるごとに各事業者のレベルアップが顕著に見られ、事業者の旺盛な開発意欲、スキルアップ意欲が示された。今後も魅力ある商品をアピールする絶好の機会として期待が高まる。
- **「第4回にいがた 食の輸出商談会2018」**  
 日本産食品・飲料の輸出に取り組む事業者を対象に、海外から招いた食品バイヤーとの個別商談会を開催した。参加事業者の輸出ニーズをヒアリングして、それぞれに応じた商談のアレンジ・マッチングを実施。新潟を拠点に海外への販路拡大サポートに寄与した。今後も海外バイヤーを招いた商談会を開催し定着化を図っていく。

同時開催

## 2018年の特徴 新潟県内、近隣県、首都圏そして海外から461社が出展。10,369名のバイヤーが、フードメッセならではの商材・技術を求める。

県内企業だけでなく隣接県および県外企業からもバランス良くバイヤーが来場し、本州日本海側および首都圏、双方を結ぶビジネスマッチングの機会を創出した国際総合見本市となった。

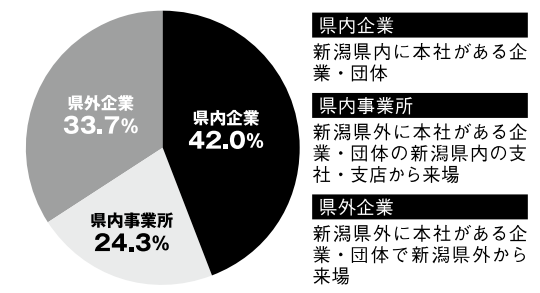


- 新潟市を舞台に食産業の情報が集結する全国規模の見本市。
- 出展社のプレゼンテーションは試食・デモを交えた効果的で質の高いものが目立った。
- これからの食を見据えたセミナーなど、農業特区新潟ならではの食の発信。
- 同時開催した「にいがた6次化フェア」の効果もあり、より広域の出展を実現。

### ◎ 2018年来場者数

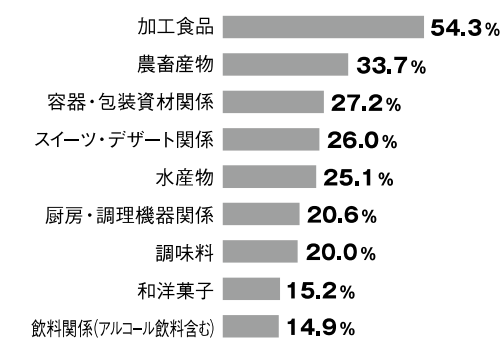


### ◎ バイヤー企業の来場地域分析



※来場した食品関係バイヤーを食糧年鑑、食品メーカー総覧、全国食品流通総覧等を使用して抽出、事業者数で分析

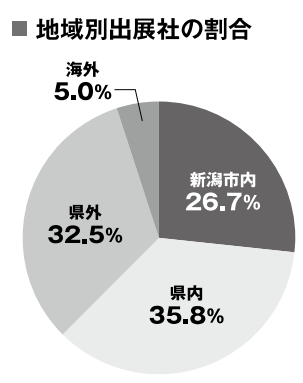
### ◎ バイヤーが関心を示す出展品目 (複数回答可)



## 地域別出展分布 「食」の情報発信基地・新潟へ。フードメッセはさらに高みを目指す。

年次	出展社数	市内	県内	県外	海外
2018	出展社数	123	165	150	23
	出展比率	26.7%	35.8%	32.5%	5.0%
2017	出展社数	136	117	187	10
	出展比率	30.2%	26.0%	41.6%	2.2%

- **高まる近隣県との連携促進**  
 新潟の隣接5県すべてからの出展が定着化。出展企業間での交流やノウハウの授受の場となり、今後のビジネスにおける様々なコラボレーションが期待できる機会となった。
- **海外への輸出も視野に**  
 自社の商品を積極的に販売促進していく中で、海外での販売戦略を立てる出展社が増加。「にいがた 食の輸出商談会」を中心に、海外へアプローチするステップの場として今後期待される。



- **全国と新潟の距離が縮まる見本市へ**  
 新潟県内と県外企業、双方バランス良く出展していることにより、県内外の距離を縮めることに繋がった。地方の情報を全国へ発信し、全国の情報をスピーディに取り入れるパイプとしての見本市となった。

## 都道府県別出展分布 新潟から全国へ、世界へ繋がる「食」の国際総合見本市を目指して。

新潟県	165	愛知県	9	岩手県	4	静岡県	3	宮崎県	2	滋賀県	1	山口県	1	スリランカ	15	タイ	1
新潟市	123	長野県	8	千葉県	4	京都府	3	沖縄県	2	兵庫県	1	鹿児島県	1	オーストラリア	2	ブラジル	1
東京都	46	群馬県	8	神奈川県	4	北海道	2	富山県	1	和歌山県	1			イタリア	1	ロシア	1
大阪府	14	福島県	6	栃木県	3	宮城県	2	福井県	1	岡山県	1			韓国	1		
埼玉県	11	山形県	4	石川県	3	岐阜県	2	山梨県	1	広島県	1			スペイン	1		
計461社																	











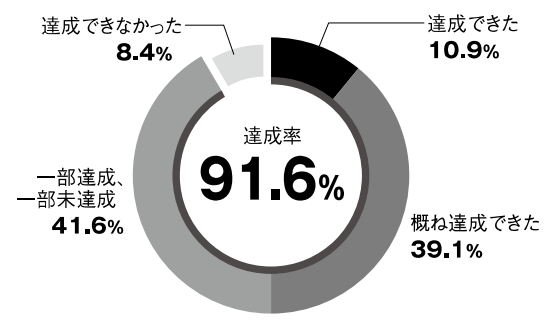
# 出展社アンケート



Q1 今回はどのような目的で出展なさいましたか？(複数回答可)

新規取引先開拓	82.0%
自社製品のPR	72.2%
既存顧客との交流	32.2%
市場調査	25.4%
新製品PR	24.9%
会場での直接取引	10.2%
販売代理店募集	7.8%
OEM 連携先開拓	6.8%
その他	7.3%

Q2 それらの目的は達成できましたか？



Q3 ブース来訪者総数は何名でしたか？

平均 **174.5** 名

Q4 会期中の商談件数は何件でしたか？

平均 **17.0** 件

Q5 会期中の成約見込件数は何件でしたか？

平均 **6.7** 件

Q6 会期中の成約見込金額はどのくらいでしたか？

平均 **744,565** 円

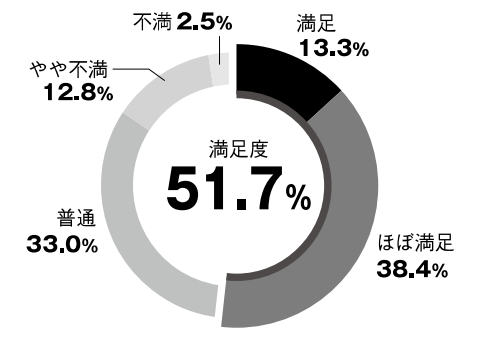
Q7 商談を行った業種を教えてください(複数回答可)

食品商社・食品卸売	48.9%
スーパー	36.8%
食品関連の専門店	36.8%
外食	32.6%
食品製造・加工	32.1%
ホテル・ブライダル	30.5%
和洋菓子・カフェ・ベーカリー	23.2%
食品を扱う通販	20.5%
官公庁・団体	18.4%
惣菜・弁当・中食	16.8%
病院・介護施設	12.1%
農林水産業	12.1%
食品機械・厨房機器	11.6%
包材・容器	11.6%
給食	10.0%
デパート	8.4%
生協	6.3%
その他	6.3%
学生	3.7%
食材宅配	3.2%
CVS	2.1%

Q8 どのような成果がありましたか？(複数回答可)

新規顧客の開拓	74.3%
既存顧客との商談・交流	52.0%
同業者との商談・交流	37.1%
サンプルの依頼	24.8%
新製品開発のヒント	20.8%
共同開発の可能性	14.4%
新製品のマーケティング	12.9%
その他	5.4%

Q9 本展示会の総合評価をお聞かせください



# 来場者アンケート



Q1 業種を教えてください

食品製造・加工	32.9%
食品商社・食品卸売	16.7%
食品機械・厨房機器	10.4%
スーパー・デパート・CVS	6.3%
農林水産業	6.3%
包材・容器	6.3%
外食	5.4%
食品を扱う通販	5.4%
食品関連の専門店	2.3%
和洋菓子・カフェ・ベーカリー	2.3%
給食	1.8%
惣菜・弁当・中食	1.3%
ホテル・ブライダル	1.3%
生協	0.9%
病院・介護施設	0.4%

※その他(官公庁・団体、学生、プレス等)を除く割合

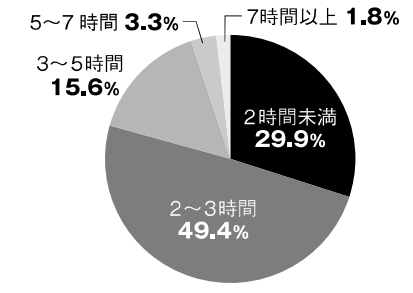
Q2 ご来場の主な目的は何でしょうか？(複数回答可)

新製品等の情報収集	63.9%
業界の動向調査	48.7%
新規取引先の開拓	35.8%
研修・見学	25.7%
既存顧客との交流	20.6%
食材・素材等の購入	14.9%
セミナー聴講のため	13.4%
機械導入	10.4%
次回出展のための視察	3.3%

Q4 仕入れ先や取引先に要求する条件として、特に重要視するものは何ですか？(複数回答可)

品質・味	52.5%
安全性	52.2%
製品の独自性	49.9%
価格	45.7%
提案力	41.2%
供給力・対応力	28.1%
商品ラインナップ	21.5%
特になし	3.6%

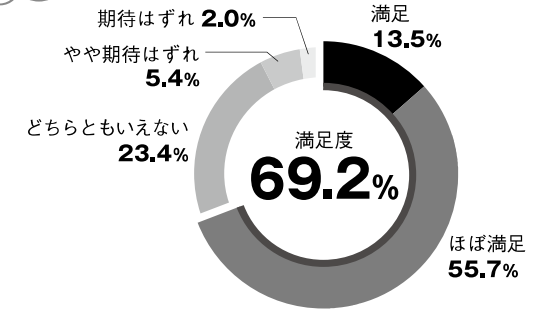
Q3 会場での滞在時間を教えてください



Q5 今後どのような出展品目の増加を望みますか？(複数回答可)

加工食品	54.3%
農畜産物	33.7%
容器・包装資材関係	27.2%
スイーツ・デザート関係	26.0%
水産物	25.1%
厨房・調理機器関係	20.6%
調味料	20.0%
和洋菓子	15.2%
飲料関係(アルコール飲料含む)	14.9%

Q6 ご来場に対する満足度はいかがでしたか？



Q7 来場地域

新潟	74.0%	—
東北	5.4%	青森県・山形県・秋田県・宮城県・福島県
北信	2.1%	富山県・福井県・長野県・山梨県
関東	13.4%	東京都・茨城県・栃木県・群馬県 埼玉県・千葉県
東海	0.3%	愛知県
近畿	3.3%	大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・和歌山県
四国・九州	1.5%	愛媛県・広島県

※一部、本社所在地で集計。





# イベント・展示企画・セミナー・「にいがた 食の輸出商談会」



## ＜オープニングセレモニー＞



開会式では篠田昭新潟市長ら主催関係者および協力会社、各国の新潟総領事館、地域金融機関、商工団体などが登壇してテープカットが行われ、「フードメッセ in にいがた2018」が盛大に開幕した。

【開会式】  
11月7日(水)  
午前9時45分よりセレモニー開始  
午前10時開場

## ＜交流レセプション＞

初日の7日(水)午後6時より Befco ばかうけ展望室(万代島ビル31階)において開催された。31階の展望室から見る新潟の夜景の美しさ、新潟特産の米や食材を使用した郷土料理と新潟を代表する酒蔵の銘酒が会場を盛り上げた。

出展社など約100名が参加し、「フードメッセ in にいがた」ならではの国際色豊かな情報交換が活発に行われた。また、食品・容器・機器などをはじめ、様々な分野の出展社が有意義な商談をすることによって、将来的なビジネスのコラボレーションに繋がること期待される機会となった。



## ＜商工団体・自治体ブース＞

地方創生の核として「地域食品」に注目し、地元の中小事業者を取りまとめて、販路拡大支援のために出展される商工団体・自治体などが年々増加。今回は30を超える団体が出展し、首都圏では中々みることができない、本州日本海側を中心とした魅力溢れる地域ブランドを多数展開。来場バイヤーに対して効果的なPRの場となり、地域ブランドづくりおよび地域活性化のサポートに寄与した。今後は新潟県内はもちろん、近隣県においても同様の出展ケースが拡大していくことが期待される。

また、事務局主催による「出前セミナー」を開催し、準備の段階から開催後のフォローまでを俯瞰してサポートする体制を強化。「展示会で成果をあげる」ことにフォーカスし、具体的な出展計画に即したノウハウを出展とセットで提供。専門講師による各種セミナーの受講により、出展する事業者のスキルアップに繋がり、大きな成果として結びつく事例が増えている。



## ＜海外バビリオン＞

新潟県及び隣接エリアのスーパー/百貨店/外食/ホテル・旅館などへの販路拡大を目指し、今回初出展の国をはじめ、アジアからヨーロッパまで8ヶ国23社が多彩な商材をPRした。首都圏や関西圏に比べ、アピールする場の少ない本州日本海側のマーケットを攻略する絶好の機会として商談や情報交換が活発に行われていた。

### 【参加国一覧】

- イタリア ●オーストラリア ●韓国
- スペイン ●スリランカ ●タイ
- ブラジル ●ロシア (五十音順)



## ＜セミナー＞

「最先端の食と農」、「世界に向けた地方の挑戦」、「食産業への新提案」など、それぞれの専門講師によって、新潟から新たな情報を発信する機会となり、3日間ともに多くの聴講者で賑わった。

### 11/7(水)

11:00▶12:00 ●セミナー

「JR東日本が取り組む地方創生について」

【講師】東日本旅客鉄道株式会社  
新潟支社 事業部長  
中尾 規生 氏



13:00▶13:15 ●セミナー

「食品スーパーマーケットの差別化戦略の重要性」

【講師】アクシアル リテイリング株式会社  
代表取締役社長  
原 和彦 氏



13:15▶13:30 ●セミナー

「惣菜開発について ~魅力ある食材と人材を通じて~」

【講師】惣菜サミット会長 小平 昭雄 氏



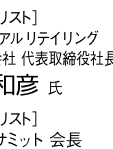
13:30▶14:30 ●シンポジウム

「緊急討論! SM惣菜開発に何が必要か?」

【ファシリテーター】三菱食品株式会社  
デリカ本部長  
若林 哲也 氏



【パネリスト】アクシアルリテイリング株式会社 代表取締役社長  
原 和彦 氏



【パネリスト】惣菜サミット 会長  
小平 昭雄 氏

15:00▶16:00 ●セミナー

「新潟の食と農 ~新潟食料農業大学の開学と地域創生に向けて~」

【講師】新潟食料農業大学 学長  
渡辺 好明 氏



### 11/8(木)

11:00▶12:00 ●セミナー

「スパイス&ハーブ ~3つの働きとその活用法~」

【講師】エスピー食品株式会社 広報ユニット  
スパイス&ハーブマスター  
遠藤 由美 氏



13:00▶14:00 ●セミナー

「国産農畜産物の流通変化とJAグループの取り組み」

【講師】全国農業協同組合連合会  
チーフオフィサー  
戸井 和久 氏



14:30▶15:15 ●セミナー

「地域資源を活用した食品ブランド開発~商工会議所発「HIENプロジェクト・紫黒もち米」を事例に~」

【講師】フォーワテックジャパン  
グリーンスーパーマーケット部ブランド  
マネージャー/ 燕商工会議所 HIEN  
プロジェクト プロジェクトリーダー  
遠藤 智弥 氏



15:45▶16:30 ●セミナー

「御社でもできる事業承継・M&A ~中小規模 食品関連企業のバトンタッチ事例を知ろう~」

【講師】OvertonePartners株式会社  
代表取締役  
萩野 圭一 氏



### 11/9(金)

10:30▶11:15 ●セミナー

「超高齢社会における食支援を考える」

【講師】新潟大学大学院 医学総合研究科  
摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授  
井上 誠 氏



11:45▶12:30 ●セミナー

「これからの食の"商い"のために ~HACCP義務化対応ほか~」

【講師】株式会社津々浦々 技術顧問/ 酒類食品  
総合コンサルタント&アドバイザー  
富岡 伸一 氏



13:00▶14:00 ●セミナー

「農林水産物・食品の輸出促進について」

【講師】農林水産省 北陸農政局  
参事官(事業支援)  
三嶋 英一 氏



14:30▶15:15 ●セミナー

「東京フードグループが新潟からオセアニアに届けたい食材について」

【講師】Tokyo Food(NZ)、  
Nippon Food supplies(AUS)  
創業者・代表取締役  
村山 晴政 氏



## ＜にいがた 食の輸出商談会2018＞

新潟を拠点とする食品輸出の促進を目指して「にいがた 食の輸出商談会2018」を開催した。商談会では、シンガポール、オーストラリアを始めとする世界各地の食品バイヤーと新潟県内企業及びフードメッセ出展社による個別商談を実施した。コメや日本酒を始め、農水産品、加工食品、調味料など幅広い商品の商談が行われ、バイヤーからはいずれも高い関心が示された。

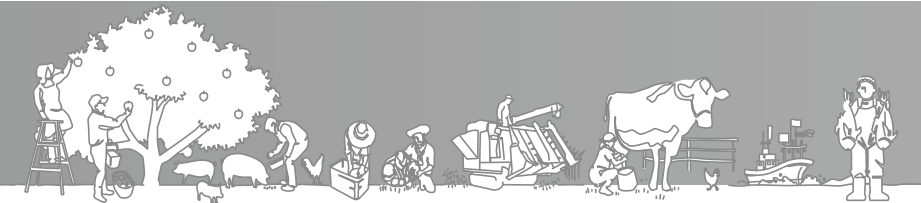
### 商談実績

バイヤー数: 17社  
日本側参加社数: 41社  
商談件数: 214件  
成約見込件数: 155件(バイヤーレポートベース数値)





# にいがた6次化フェア／6次化大賞



「フードメッセ in にいがた」では、地方の食品産業の活性化策として国が推進する6次産業化にいち早く注目し、全国で唯一の6次産業化の事業者を対象にした専門展示会を開催。フードメッセとの同時開催による来場動員効果を活かし、6次産業化にとって重要課題である販売先ルートの確保にフォーカスし、出展社の販路開拓を支援してきた。

「第5回にいがた6次化フェア2018」においては、全国から26の6次産業化に取り組む事業者が出展し、地域食品・食材を探す有力バイヤーとの商談機会を提供した。その前段として、出展社説明会でFCPシートの勉強会を開催する等、展示会に出展経験の無い小規模事業者でも、今後の販路拡大に向けたステップアップができるよう、準備段階からのサポート体制を強化した。各事業者のレベル向上を図る機能を充実することで、会期当日の商談で自社商品の魅力が来場バイヤーに明確に伝わり、成約率を高めるサポートに繋がっている。今後もこのようなサポートを継続して、出展社・来場者双方にとって、より一層質の高い展示会として確立していくことが期待される。

また、事業者どうしの情報交換の場としても有効活用され、新潟から全国の6次産業化に取り組む事業者のネットワーク拡大にも期待が高まった。



## 予約制個別商談会



予約制個別商談は、6次産業化に取り組む事業者に通ずる課題である「流通との接点の強化」を目的に企画運営された。

事業者から事前に提出されたヒアリングシートとFCPシートをもとに、地域産品・6次産業化商品の発掘に関心のある有力バイヤーを招致し、新潟県内のみならず、首都圏を中心に全国から22社集まった。

事業者及びバイヤーの要望・スケジュールなどを事前調整して、精度の高いマッチングを目指し、商談成約のサポートを図った。

各出展ブースをバイヤーが訪問する形でブース内のテーブルで商談が行われ、2日間にわたって展開された商談数は延べ92件となった。

### 参加バイヤー企業一覧

あおなみ食品(株)	(株)オーゾーフーズ	(株)GLUG	Solveline(ソルブライン)	調布のやさい畑	(有)レインボートレーディング
(株)ARAN.	岡島百貨店	国分フードクリエイティブ(株)	(株)ダイヤモンドダイニング	(株)ハークスレイ	ロイヤル空港高速フードサービス(株)
一神商事(株)	カナカン(株)	(株)JEM	(株)タケイ	歯屋インターナショナル(株)	(50音順)
(株)エイト	(株)カン喜	(株)治元	(一社)地域資源活用会	丸正製パン(株)	

## 6次化相談コーナー

6次産業化に取り組む事業者の育成・支援を目的に設立された「6次産業化中央サポートセンター」の全面的な協力を得て、出展する事業者だけでなく、来場する1次産業事業者の6次産業化に関する様々な悩み・疑問に答えることを目的に、「6次化相談コーナー」を開設。

6次産業化中央サポートセンターから派遣された専門プランナーが、事業者の抱える様々な悩み・課題に対し、個別に丁寧なアドバイスをを行い、当日の商談サポートおよび今後の6次産業化の発展・定着に寄与した。



## 北陸農政局新潟県拠点特別セミナー



セミナー講師：小野寺 正博氏  
 ((有)仙台屋 代表取締役/農林水産省 6次産業化中央サポートセンター プランナー)  
 セミナータイトル：「新潟から全国へ 求められる商品作りを目指して」

地域産品開発を通して、中小企業と地域の活性化および地方創生に貢献されている小野寺氏を講師に迎え、特別セミナーを開催。

商品企画開発から販促プロモーションまで、数多くの支援事例を通して6次産業化における様々な施策を提案して頂く。また、現在求められている商品について、消費者の購買ポイントを分かりやすく解説。6次産業化に取り組む関係者が会場を訪れ、今後の商品開発・コンセプト設定等、課題解決の機会に繋がった。

## 第4回「6次化大賞」

今年で4回目を迎える「6次化大賞」は、北は山形県、南は宮崎県より36事業者・46商品のエントリーがあった。会期中は、会場内特設ステージにて「最終選考会」を2日間にわたって開催。一次審査を通過した15事業者がステージで審査委員と聴講者を前に、課題の「提案力・説得力」を競う、熱のこもったプレゼンテーションを披露した。プレゼンテーション後、審査委員からは厳しくも温かい意見・アドバイスがあり、事業者のブラッシュアップに繋がった。また、最終日には受賞者プレゼンテーション[グランプリ(新潟市長賞)・準グランプリ・日本食糧新聞社賞]を実施し、各受賞商品を改めてアピールする機会となった。

- 【審査委員長】大慈弥 晶土(アールイー株式会社 代表取締役、元6次産業化中央サポートセンター 事務局長)  
 【審査委員】生稲 芳高(一般社団法人地域資源活用会 長野県支部長、6次産業化中央サポートセンター プランナー)  
 【審査委員】桶矢 茂守(株式会社フォーフォーム マーケティング・マネージャー、6次産業化中央サポートセンター プランナー)  
 【審査委員】田中 良介(アグリマーケティング株式会社 代表取締役、Innova Market Insights 日本カンパニーマネージャー)  
 【審査委員】長谷川 雅史(株式会社新潟三越伊勢丹 新潟伊勢丹店 NIIGATA越品プロジェクトバイヤー)  
 【審査委員】武藤 麻実子(日本食糧新聞社 月刊新製品トレンド 編集長)

## 第4回 6次化大賞 最終選考会 結果

エントリー36社のうち一次予選を通過した15社が、6次化推進に向けた賞金総額110万円(相当)をかけて、熱のこもったプレゼンテーションを披露。

6名の審査委員が審査基準をもとに、それぞれの専門分野からの視点も加えて厳正に審査した。

最優秀賞の「グランプリ(新潟市長賞)」、「準グランプリ」、「日本食糧新聞社賞」、「入賞」、合計5社が下記のとおり受賞し表彰された。



<h3>グランプリ(新潟市長賞)</h3> <h2>燕商工会議所 HIENプロジェクト</h2> <p>新潟県三条市</p> <p>HIEN/BLACK RICE CRACKER (黒米ライスクラッカー)</p>	<h3>準グランプリ</h3> <h2>(株)高千穂ムラたび</h2> <p>宮崎県西臼杵郡高千穂町</p> <p>米ぬかのお菓子 おぬかさんとおゴマさん 黒ゴマ</p>	<h3>入賞</h3> <h2>農村木島平(株)</h2> <p>長野県下高井郡木島平村</p> <p>ふわふわ ロールケーキ (プラムリー)</p>
	<h3>日本食糧新聞社賞</h3> <h2>(株)脇坂園芸</h2> <p>新潟県新潟市</p> <p>ドライエディブルフラワーパウダー(乾燥食用花)</p>	<h3>入賞</h3> <h2>ファーストファーム(株)</h2> <p>新潟県上越市</p> <p>ヤギ乳 100%使用 ヤギさんのバター</p>

<h3>(一財)魚沼農耕舎</h3> <p>魚沼リソット米</p>	<h3>グリーンリーフ(株)</h3> <p>有機味付玉こんにゃく</p>	<h3>(有)渡辺鶏園 フェルエッグ</h3> <p>自家製たまご茎わさびの濃厚ドレッシング</p>	<h3>(有)すとう農産(小法師46)</h3> <p>リゾットのお米(ボルチーニ茸&amp;椎茸)</p>	<h3>八米(HACHIBEI)</h3> <p>ひまわりオイルコンフィ(飯)</p>
<h3>やよい農園(飯山商工会議所)</h3> <p>野菜入り6色の米粉クッキー缶(卵・乳製品不使用)</p>	<h3>(株)サンライフ</h3> <p>ライフジビエカレー</p>	<h3>Ichi-Rin 苺菓</h3> <p>Ichi-Rin 苺菓 ドライいちご</p>	<h3>(福)親和福祉会 korette(コレット)</h3> <p>PEARL BARLEY・もち麦・新潟県産六条大麦はなうもち</p>	<h3>(株)白根大郷梨</h3> <p>中村観光果樹園 ルレクチエ ストレートジュース</p>

### 【そのほかの6次化大賞エントリー企業】(50音順)

(株)えちご棚田文化研究所	さんしょう塩	(株)キノコハウス	メープルドゥン	福島アグリネットワーク(南岡崎)	セミドライフルーツ(白桃)
小千谷商工会議所		(株)ごはん	グルテンフリー ご飯パン プラン2枚入	福福堂	自分で作る楽しい甘酒
おちや食おこし隊 魚見	雪の恵みスープ(にんじん)	近藤商店(株)	新潟県産レトルト鮭フレーク	(有)舟形マッシュルーム	舟形マッシュルームの旨いピクルス
小千谷商工会議所		(株)サンファーム泉	豚肉に合うジャム	(株)フルーツファームいとう園	duo de raisins(シャインマスカット枝付き干しぶどう)
おちや食おこし隊 備たかの	おちや鉄板あられキット	(株)夢想樹	ルレクチェ カービングコンポート	(株)孫作	米粉のたご焼き
小千谷商工会議所		(有)大幸	コメパンチドーナツ メープル	(株)御稲プライマル(株)	358(サゴハチ)桃ピクルスの素
おちや食おこし隊 農園ヒギン	魚沼産もち米(わたぼうし)	(有)新潟森林農園	笹団子(つぶあん)5個入り	(株)ワイビーファーム	桑の素
笠巻農産(株)	熟成黒にんにく(1粒包装)	(有)番屋農産	玄米珈琲(ティーバッグタイプ)		
(株)かたぎり	嘉右衛門ごはん(10種類)				





## 各種媒体への開催告知



★にいがた経済新聞6面(2018年10月10日付)

■その他媒体■  
にいがた経済新聞Web版(2018年11月7日付)



★日本食糧新聞  
(2018年8月10日付)



★日本食糧新聞(2018年11月2日付)

## 開催レポート



★新潟日報(2018年11月8日付)



★朝日新聞(2018年11月8日付)



★日本食糧新聞(2018年11月9日付)

★日本食糧新聞  
(2018年11月26日付)



★日本農業新聞(2018年11月10日付)



★日本食糧新聞(2018年11月16日付)



他...

NHK新潟 NEWS WEB(2018年11月7日付)  
NHK新潟 NEWS WEB(2018年11月8日付)  
にいがた経済新聞Web版(2018年11月8日付)  
にいがた経済新聞Web版(2018年11月9日付)  
集英社Webマガジン「OurAge」(2018年12月1日付)  
など掲載多数

<テレビ>

局名	番組名
NHK 新潟放送局	新潟ニュース610 新潟ニュース845
BSN 新潟放送	BSN NEWS ゆうなび
TeNY テレビ新潟放送網	夕方ワイド新潟一番
新潟テレビ21	スーパーJにいがた
NST新潟総合テレビ	FNN・NSTプライムニュース

## 出展プロモーション



★日本食糧新聞  
全5段  
(2018年6月15日付)



★日本食糧新聞  
全5段  
(2018年8月10日付)

■新聞広告■

・日本食糧新聞  
対象地域：全国

## 公式ガイドブック



★フードメッセ in にいがた  
公式ガイドブック  
仕様：A4 44ページ  
部数：6,000部



★6次化大賞  
公式ガイドブック  
仕様：A4 44ページ  
部数：1,000部

## 公式ウェブサイト



★フードメッセ in にいがた  
公式ウェブサイト  
<http://foodmesse.jp>



★6次化フェア  
公式ウェブサイト  
<http://foodmesse.jp/6fair>

## 誘客プロモーション



★新潟日報 全5段  
(2018年10月15日付)



★にいがた経済新聞全5段  
(2018年11月3日付)



■新聞広告■

・日本食糧新聞  
対象地域：全国  
・新潟日報  
・にいがた経済新聞

★日本食糧新聞全15段  
(2018年10月26日付)

## 招待状



★招待券  
仕様：A3 両面 4色×1色  
巻3つ折り  
部数：150,000部

## ポスター



★仕様：B2 カラー 部数：1,000部